
繰り返す世界

楓

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

繰り返す世界

【Nコード】

N09360

【作者名】

楓

【あらすじ】

繰り返す世界に生まれた少年。

その少年と毎晩遊ぶ天使の話。

——少年は天使と遊んでいる——

少年は生まれつき体が弱く、学校にはほとんど行かず、入退院を繰り返していた。

今日も少年は空を見上げる。早く天使が降りてこないかと。いつものように遊ぼうと。

昼が過ぎた。まだ天使は降りてこない。少年は空を見上げている。夜になった。まだ天使は降りてこない。少年は空を見上げている。月が降り始めた頃。

「……もう寝たの？ このタヌキめ」

どこからか可愛い声が聞こえてきた。少年が窓を開ける。

「嘘だよ。まだ寝ない。今日は遊んでないし」

少年は微笑み、空に浮かぶ天使に手を伸ばした。

「……相変わらず短い手だね。体は大丈夫なの？」

天使が降りてきて少年の手を取りながら言う。

「平気。それより遊ぼうよ」

天使には分かっていた。その言葉が嘘だということを。

それでも天使は少年と遊んだ。ただ自分の享樂のためか、同情か、なくさめか知らず。

「……今日は冷えるね。早く寝な。体に毒だよ」

「うん。明日も来てね。約束だよ」

二人は指切りをした。少年の手は短かった。少年の体は小さかった。

数カ月後、少年はいなくなった。

「ねえ、皆僕が見えないのかな」

「そうじゃない？ 誰もあなたを見ていないわ。私以外はね」

「こんなに小さくなるなんて思わなかったよ。これからどうしよう」
天使は普段どおりの大きさ。しかし少年は天使の手に乗るくらい

小さくなった。

「あたしと一緒に空で遊ぼう。神に大きくしてもらったらいいいじゃない」

「そうだね。一生空で暮らそうかな」

「そうしなさいよ」

天使は空に昇っていった。その手には小さくなった少年が握られていた。

そのあとすぐ、少年は地上のどこかに落とされた。

「いてて…あれ、ここどこだ？」

水がタプンタプンと入っているとところに、少年は入っていた。

「……僕、また赤ん坊に戻っちゃった…？」

その日は少年が生まれた日だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0936o/>

繰り返す世界

2010年10月9日09時32分発行